

巨大地震による原発過酷事故の危険性を指摘した予言的地裁判決!



12年2月刊行

志賀(能登)原発反対運動・ 差止訴訟資料

開票されなかった住民投票/浄土真宗寺院、門徒の支援/
放射能測定器設置、ヨウ素剤配布などの先駆的取組み

全11巻B5判・上製本 別冊1 付録DVD
揃定価(本体250,000円+税) *分売不可
ISBN978-4-86369-192-6

編集委員: 高木恒一(立教大学共生社会研究センター長・教授)
堂下健一(元2号機訴訟原告団長・志賀町町議)
友澤悠季(立教大学兼任講師)
中村紀一(筑波大学名誉教授)
藤林 泰(埼玉大学教授)
安田常雄(国立歴史民俗博物館教授)
解題: 井戸謙一(弁護士・元金沢地裁裁判長)
高木恒一
多名賀哲也(命のネットワーク副代表)
安田常雄

聞き語りDVD撮影・聞き手: 森まゆみ 編集: 木崎貴幸

戦後日本 住民運動 資料集成 7

すいれん舎



《本シリーズの刊行趣旨》

わが国の民衆運動は、戦後民主主義の中で成長し、60年安保反対の国民運動でひとつの頂点を迎える。その後、全国各地の住民・市民運動、消費者運動へと広がりを見せ、70年代に入ると、これら生活者の運動は高度成長を進める権力に抵抗する中から、自らの新しい公共性を構築。あとに膨大な活動の記録を残している。

戦後日本住民運動資料集成は、彼らが発行したミニコミ類を忠実に復刻し、運動の現代的意味を考察すると共に、民衆の築きあげてきた野史の間隙を埋めようとするものである。

●最初の核燃料搬入に抗議する住民等。



宣言

能登原発は、地元住民の意志を無視して、天下り方式で県庁当局は押し進めようとしているが、吾々地元住民にとってはかけがえのない水も無い歴史を有する土地の要であり、然も子から伝えられ続ける生活環境の重大な被害である。原発設置によって将来の海へもとすであろう汚染を土に封じ込めようとするが、又将来の環境悪化の懸念も併生も併生もいまだに、「上の土に封じ込めよう」との安易な考えの下に、飽くまで施設設置を断念するに賛成しない。以下、町民の組織はもとより反対である。

【運動方針】
 一、生活の手段である農業の大半を自分の手反しに反して喪失する。
 二、良心の叫びである住民には、運搬の人手の確保もできない現実である。
 三、予断される汚染の増えにそれに伴う大々汚染物の処理。
 四、最も恐ろしいのは核燃料搬入工事の出現。
 五、建設工事に伴う水、毎月の社会不安問題。
 六、急激な労働環境悪化による社会不安、及び環境の悪化である。

吾々地元住民として心なかにこの苦境を憂い、憂い、地元の開発の美にみせられたるを告知出来る。
 一、地元の開発を成し遂げるものは吾山県に本社を持つ志賀がむすく石川県に土地を求めたり、地元反対がなにも無理強いする必要がない。
 二、原子炉を中心とした一定の範囲内の人口制限するは不安定なものと認めらるべきあり、地元の開発に反対するものである。
 三、地元住民の原初に反対する性質の無い、知的水準高い村をまとし、吾々地元住民の人権を尊重した建設には無条件に反対して反対するものである。

右 宣 言 する

福浦原発設置反対同盟会



●1968年結成直後の福浦原発設置反対同盟会の崇高な宣言文。今の福島にそのままではまる。

●原発差止訴訟としては日本で初めて原告住民が勝訴。2号機差止訴訟、金沢地裁前で。

1 能登、金沢、富山、羽咋、津幡などの運動を取材、資料収集した貴重な資料群

原発の地元志賀町福浦、赤住、風戸で古くからの反対運動資料を収集、収録。さらに金沢市や富山市の反原発石川県民の会や反原発市民の会富山などの資料も掲載。そして子育てのお母さんたちの間で広まった「紅茶の時間」のしなやかな原発反対運動についてもその会報誌『いのちの未来に原発はいらない通信』を1号から最新号まで収録。古代からの港集落での船員や漁民による強固な反対運動と金沢など都市部での市民運動などの流れを汲む反対運動、そして内灘闘争や七尾火力反対運動を体験した人たちから子育てのお母さんたちと多種、多様な人々が参加し、多面的な運動が展開された志賀原発反対運動。これらの資料をできるかぎり収録した。

2 開票されなかった住民投票

原発設置を問う日本で最初の住民投票が行われた赤住地区。石川県の圧力で開票されなかった住民投票について、『原発闘争日誌』がその緊迫した経過を克明に伝えているほか、当事者たちの聞き語りをDVDに収録した。

3 浄土真宗寺院、門徒の原発反対運動支援

一向一揆の歴史を持つ加賀、能登では原発反対運動を当初から浄土真宗の僧侶や門徒が支援、原発反対運動や訴訟を進める大きな力となった。七尾における浄土真宗大谷派の僧侶と女性たちの反対運動組織「なまこの会」の資料を復刻したほか、厳しい中で原発反対を貫いた地元志賀町や七尾市の僧侶の聞き語りをDVDに収録した。

4 先駆的な放射線被曝防災運動の展開

反対運動は一方で放射線被曝防災運動を積極的に展開。自主避難訓練を実施しているほか、羽咋市に十数年前からすべての保育所、小中学校にヨウ素剤を配布させたり、放射能測定器を設置させている。3.11以後は全国の自治体から羽咋方式に学べと注目されている。これらの運動については「原告団ニュース」や「命のネット通信」で収録した。

5 当事者の聞き語りをDVDビデオに収録

古くから地元で反対運動のシンボリック的存在であった橋たきさんを始め、内灘闘争の体験者でもあり、反対運動のキーパーソンの一人小川一男さんなど、反対運動、訴訟の主要な当事者11人に聞き語りを実施、DVDに収録した。

反対運動資料収録リスト (一部)



●子育てのお母さんたちの場としてスタートした「紅茶の時間」。しなやかな原発反対運動の場となり、各地に広まった。

- 福浦原発設置反対同盟会原発闘争日誌(1967年～1981年)
- 福浦原発設置反対同盟会闘争文書発受綴
- 能登原発ニュース(能登原発反対各種団体連絡会議)
- ふるさと(富来町ふるさとを守る会)
- 能登原発団結小屋だより(志賀町赤住団結小屋)
- 反原発石川県民の会会誌(反原発石川県民の会)
- …と…(反原発市民の会富山)
- のとだより(なまこの会)
- いのちの未来に原発はいらない通信(水野スウ)
- 命のネット通信(命のネットワーク)

II 裁判資料の特長

1 原告代理人から提供された貴重な裁判資料

判決文のほか訴状、原告・被告双方の準備書面、陳述書、甲号証拠資料、乙号証拠資料など裁判資料を多数収録。下級審から上級審に基本的には時系列順に資料を配列した。

2 原発問題の教科書 2号機一審判決

—巨大地震による原発過酷事故の危険性を指摘した予言的判決—
福島原発の事故以後、原発問題の教科書と高い評価を受ける2号機一審の判決文。訴状、原告・被告双方の最終準備書面、意見書、証拠資料などを忠実に複製することにより、判決にいたる過程を明らかにした。

3 元裁判長が証拠資料をセレクトした画期的裁判資料

2号機訴訟一審の判決を言い渡した金沢地裁の元裁判長が自ら証拠資料をセレクトし、編集収録。巨大地震が発生した場合過酷事故になる危険性が高いことを証明する証拠資料を多数収録した。

4 元裁判長が丁寧な解題を執筆

日本の原発裁判の系譜と2号機一審訴訟と判決の特徴について、元裁判長ならではの丁寧な解題を執筆、別冊解題・資料に収録した。

5 原告団ニュースを掲載

法廷内外の闘いを伝える原告団ニュースを1号（1989年1月）から99号（2010年12月）まで完全収録。

裁判資料収録リスト（一部）

2号機訴訟

- 訴状 ● 甲号証 証拠目録 ● 乙号証 証拠目録
- 甲号証 証拠資料 ● 乙号証 証拠資料 ● 陳述書
- 原告最終準備書面 ● 被告最終準備書面 ● 判決
- 控訴状 ● 控訴理由書 ● 高裁判決 ● 上告理由書
- 最高裁決定 ● 原告団ニュース1号～99号

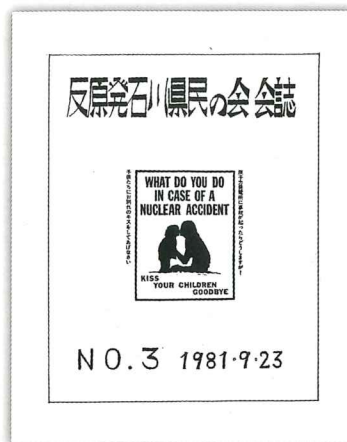
赤住を守る会は、乗船中の船員全員に打って、至急電報（ヘナ電）を打って、第二次買収問題について、異否の確証を問う。

アカスミダイニシパイシユウハフラクコウボウヲ
ケツスルノデサンビノヘンジラウウテ
赤住の愛護の士は愈々立ち上がった。その人たらの心ざしや、まさに赤住の歴史の上に輝かしい大いなる一ページを飾るであろう。

福浦原発設置反対同盟会の 信念と決意

吾々及対同盟会の同志は、今後益々一致団結して果敢に目的の遂行に進んで止まない。我が郷土福浦の栄誉ある歴史を抹殺し、尚吾々の生存権をも剥奪せんとした不逞の輩を断固排撃して、我等の祖先に感謝し、子孫のために徹底的に闘う決意を表明する。

●赤住を守る会が乗船中の船員全員に打った電文を伝えるチラシ



●市民運動の流れを汲む金沢市の人たちが中心となり、原発反対運動に取り組み、会誌を発行した。



●いのみら通信は「紅茶の時間」という場から生まれ、現在も続いている。

推薦者
(五十音順)

淡路剛久 (早稲田大学法科大学院教授)

植田和弘 (京都大学教授)

奥平康弘 (東京大学名誉教授)

小田康徳 (大阪電気通信大学教授)

菅井益郎 (國學院大學教授)

首藤重幸 (早稲田大学法学学術院教授)

寺田良一 (明治大学教授)

長谷川公一 (東北大学教授)

船橋晴俊 (法政大学教授)

宮本憲一 (大阪市立大学名誉教授)

山内敏弘 (一橋大学名誉教授)



●共有地団結小屋前に建てた鉄塔。



●反対運動のシンボリック的存在、志賀町赤住の橋たきさんと夫の(故)橋菊太郎さん。

聞き語りDVD収録者一覧

林秀樹 (反原発石川県民の会)

橋たき (赤住を愛する会)

藤岡彰弘 (反原発市民の会富山)

小川一男 (富来町を愛する会)

水野スウ (紅茶の時間「主宰」)

畠山浄 (常福寺副住職)

畠山和徳 (常福寺住職)

多名賀哲也 (「命のネットワーク」副代表)

飯田克平 (元金沢大学がん研究所助教授・日本科学者会議全国幹事)

海恵宏樹 (存立寺住職)

堂下健一 (元2号機訴訟原告団長・志賀町町議)

*DVDについては、館内上映・館外貸出・館内利用いずれも可

●既刊

1期	復刻『草の根通信』1 1号～205号(1989年12月号) 2006年1月●揃定価(240,000+税) B5判・全9巻+解題 978-4-902871-45-6
2期	『巻原発反対運動・住民投票資料』 2006年12月●揃定価(240,000+税) B5判・全10巻+解題 978-4-903763-00-2
3期	『横浜新貨物線建設反対運動資料』 2008年1月●揃定価(240,000+税) B5判・全9巻+解題 978-4-903763-47-7
4期	復刻『草の根通信』2 206号～380号(2004年7月号) 2008年9月●揃定価(240,000+税) B5判・全10巻+解題 978-4-903763-73-6
5期	復刻『草の実』1 1号～200号 2009年11月●揃定価(240,000+税) A4判・全7巻+解題 978-4-86369-068-4
6期	復刻『草の実』2 201号～475号 2010年8月●揃定価(240,000+税) A4判・全10巻+解題 978-4-86369-097-4
7期	志賀(能登)原発反対運動・差止訴訟資料 2012年2月●揃定価(250,000+税) B5判・全11巻+解題 978-4-86369-192-6

●刊行予定

8期	三島・沼津石油コンビナート建設反対運動資料 2012年10月●揃定価(250,000円+税) B5判・全10巻+解題
9期	徳之島核燃料再処理工場建設反対運動資料 2014年1月●揃定価(250,000円+税) B5判・全10巻+解題

《販売対象》

- 文学部：現代史、女性史、フェミニズム
- 環境関連学部学科／社会学部：環境社会学、社会運動、都市社会学会、地域社会学、ジェンダー
- 経済学部：環境経済学、経済史、財政学
- 法学部：不法行為、環境法、行政法、憲法、不動産法、政治学、行政学、地方自治、公共政策
- 農学部 ●水産学部 ●工学部
- 都道府県立図書館 ●市区立図書館

株式会社 すいれん舎

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-10 西村ビル5F

TEL.03-5259-6060 FAX.03-5259-6070

E-mail masato@suirensa.jp

取扱店